



文化財愛護シンボルマーク

平成27年2月9日

文 化 財 課	
担当者	浜原浩司 横山定
外線番号	086-226-7601
内線番号	4417

### 岡山県指定重要文化財の指定等についてお知らせします

平成27年2月6日（金）開催の岡山県教育委員会において、岡山県文化財保護審議会（会長 田中 英機）の答申に基づき、岡山県指定重要文化財の指定等について審議が行われ、別紙のとおり指定されることになりましたのでお知らせいたします。

〈今後の予定〉

県公報告示 3月上旬（正式な指定日）  
指定書交付式 3月25日（水）

【指定】

種 別	名称・員数	所有者・所在地	説 明
1 重要文化財  彫刻	木造十一面観音菩薩立像  1 軀	宗教法人千手院  〈所在地〉 備前市蕃山	<p><b>和様代用檀材を用いた檀像で、保存状態もよく貴重な平安時代後期の仏像。</b></p> <p>千手院の本堂中央の厨子内に安置されている木造十一面観音菩薩立像は、ヒノキ材製の素地像で、平安時代後期彫刻史の大きな流れの一つである、和様代用檀材を用いた檀像の一つである。現状では、頭体幹部を一材製とし、内割りを施し、両肩先に別材を矧ぎ寄せている。衣文の表現が浅く、全体に柔和な表現が見られることから、平安時代後期の制作と考えられる。頭上面の化仏、左手首先、右手の手甲部、足首などは後補とみられるが、本像は全体的に保存状況もよく、貴重である。</p>
2 重要文化財  古文書	池田光政日記  21冊  附池田光政自筆系図及び覚  各1巻	株式会社林原 (日記及び覚)  一般財団法人林原 美術館 (系図)  〈所在地〉 岡山市北区丸の内 (一財)林原美術館	<p><b>池田光政の自筆日記で、江戸時代前期の政治思想史などの研究上貴重な資料。</b></p> <p>岡山藩主池田光政による、29歳から61歳〈寛永14(1637)年～寛文9(1669)年〉までの日記20冊と池田光政が与えた教諭をまとめた別巻1冊が現存している。日記には、藩政、対幕府関係、一門・親類の諸家及び他藩との交渉、参勤交代、年中行事、冠婚葬祭などについての詳細な記述がみられる。江戸時代前期の大名の自筆日記が現存していることは稀であり、名君と称され岡山藩の基礎を築いた池田光政の行動や思想的背景を考察する上で不可欠であり、またこの時期の政治思想史を研究する上でも重要な資料である。</p>